

# 2008年4月改定 緊急レセプト調査報告

—4月速報値—

定例記者会見

2008年5月28日  
社団法人 日本医師会

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 調査の概要

## 調査対象

日本医師会A1会員の医療機関(病院:6,931、診療所:76,702箇所)から、それぞれ1/20を都道府県別に層化無作為抽出した。

## 回答状況

有効回答数は30%強であり、全国の医療施設の1%以上をカバーしている。

	対象施設数	回答施設数	有効回答数 ①	有効回答率	医療施設動態 調査(08年2月) ②	①÷②
診療所	3,862	1,382	1,161	30.1%	99,497	1.2%
病院	367	152	115	31.3%	8,838	1.3%
合計	4,229	1,534	1,276	30.2%	108,335	1.2%

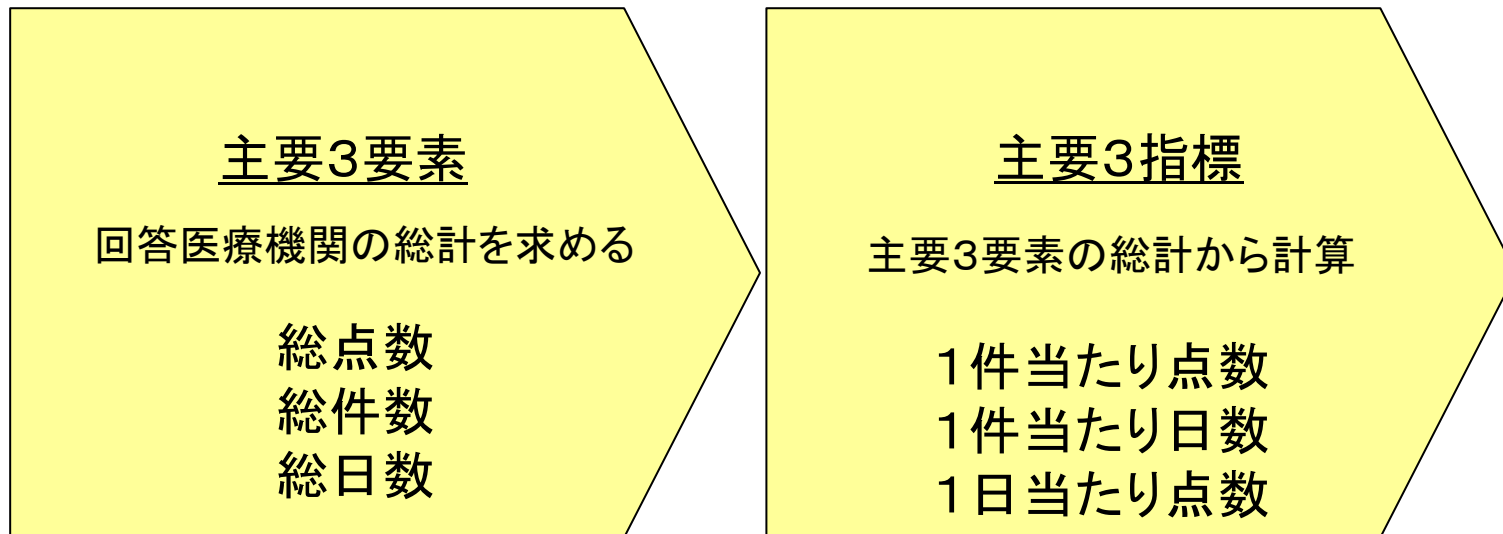
2008年5月23日到着分まで

※回答調査票のうち、日数の記入が不可能と回答のあったもの等は集計から除外した。また、回答票の数値で確認中のものがあるため、回答施設数と有効回答数に差が出ている。

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 分析方法

全体の傾向を見るため、主要3要素の総計を求め、そこから主要3指標を計算している。すなわち主要3指標は加重平均である。



※本報告では、主要3指標の平均をとった単純平均も集計表に示す予定。

## 日数補正について

2007年4月の診療日数は22日、2008年4月の診療日数は23日（平日を1、土曜日を0.5とカウント）であった。このため、2008年4月分の入院外の主要3要素それぞれの値に22/23を乗じて補正した。

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

## 基本情報(診療所)

全国の状況に比べて、法人その他(医療法人、公立等)の比率が低かった。日本医師会 A1会員の医療機関を対象とした調査であり、公立診療所の会員が少ないことが背景にある。また全国に比べて、特に眼科(主たる診療科)の回答数が高かった。

設置主体

	本調査		医療施設動態調査 (08年2月)	
	数	構成比	数	構成比
個人	664	57.2%	48,756	49.0%
法人その他	497	42.8%	50,741	51.0%
計	1,161	100.0%	99,497	100.0%

有床無床区分

	本調査		医療施設動態調査 (08年2月)	
	数	構成比	数	構成比
有床	163	14.0%	12,106	12.2%
無床	998	86.0%	87,391	87.8%
計	1,161	100.0%	99,497	100.0%

診療科目

	本調査			医療施設調査(05年)		
	数	構成比	その他を除く構成比	数	構成比	その他を除く構成比
内科	562	48.4%	49.7%	37,356	38.3%	63.3%
小児科	80	6.9%	7.1%	3,182	3.3%	5.4%
精神科	25	2.2%	2.2%	2,082	2.1%	3.5%
外科	50	4.3%	4.4%	3,803	3.9%	6.4%
整形外科	74	6.4%	6.5%	5,902	6.1%	10.0%
産婦人科	60	5.2%	5.3%	1,323	1.4%	2.2%
眼科	113	9.7%	10.0%	358	0.4%	0.6%
耳鼻咽喉科	78	6.7%	6.9%	1,835	1.9%	3.1%
皮膚科	61	5.3%	5.4%	1,615	1.7%	2.7%
泌尿器科	19	1.6%	1.7%	920	0.9%	1.6%
脳神経外科	9	0.8%	0.8%	662	0.7%	1.1%
その他	30	2.6%	—	38,404	39.4%	—
計	1,161	100.0%	100.0%	97,442	100.0%	100.0%



本調査は個人、医療法人など民間医療機関の実態をあらわすものといえる

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

## 基本情報(病院)

全国の状況に比べて、医療法人の比率が高く、国公立等の比率が低かった。日本医師会A1会員の医療機関を対象とした調査であり、国公立の会員が少ないことも背景にある。また国立病院の回答が少ないことは大学病院の回答が少ないことも意味し、そのため大規模病院も少なかった。

設置主体

	本調査		医療施設動態調査 (08年2月)	
		構成比		構成比
個人	7	6.1%	508	5.7%
医療法人	96	83.5%	5,713	64.6%
国立	1	0.9%	277	3.1%
公立	3	2.6%	1,018	11.5%
公的	1	0.9%	302	3.4%
その他	7	6.1%	1,020	11.5%
計	115	100.0%	8,838	100.0%

病床規模別

	本調査		医療施設調査(06年)	
		構成比		構成比
20-49床	14	12.2%	1,150	12.9%
50-99床	32	27.8%	2,332	26.1%
100-199床	32	27.8%	2,709	30.3%
200-299床	21	18.3%	1,153	12.9%
300-499床	16	13.9%	1,120	12.5%
500床以上	0	0.0%	479	5.4%
計	115	100.0%	8,943	100.0%

国立:厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他

公立:都道府県、市町村

公的:日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会

その他:公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、全国社会保険協会連合会など



本調査は民間の中小病院の実態をあらわすものといえる

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

## 診療報酬の届出状況(診療所)

夜間・早朝等加算は診療所の44.8%が届出を行っていた。今後届出予定ありを加えると46.9%である。

後期高齢者診療料を届け出ている診療所は、本調査では15.8%であり、全国の速報値とほぼ同じであった。

夜間・早朝等加算(2008年4月現在)

	医療機関数	
		構成比
届出あり	520	44.8%
届出なし	641	55.2%
今後届出予定あり	25	2.2%
今後届出予定なし	616	53.1%
計	1,161	100.0%

後期高齢者診療料(2008年4月)

	本調査(2008年4月)		厚生労働省4月14日速報値	
	医療機関数		医療機関数	
		対総数		対総数
届出あり	184	15.8%	8,876	14.0%

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

## 診療報酬の届出状況(病院)

本調査では、国立病院、大規模病院の回答が少なく、DPC対象病院は3医療機関に止まっている。また入院時医学管理加算の届出病院、7対1算定病院もやや少なかったが、これも同様の理由によるものと推察される。

DPCによる支払対象病院

	医療機関数	
		構成比
DPC対象病院	3	5.4%
その他	53	94.6%
計	56	100.0%

入院時医学管理加算(2008年4月現在)

	医療機関数	
		構成比
届出あり	2	3.6%
届出なし	53	96.4%
計	55	100.0%

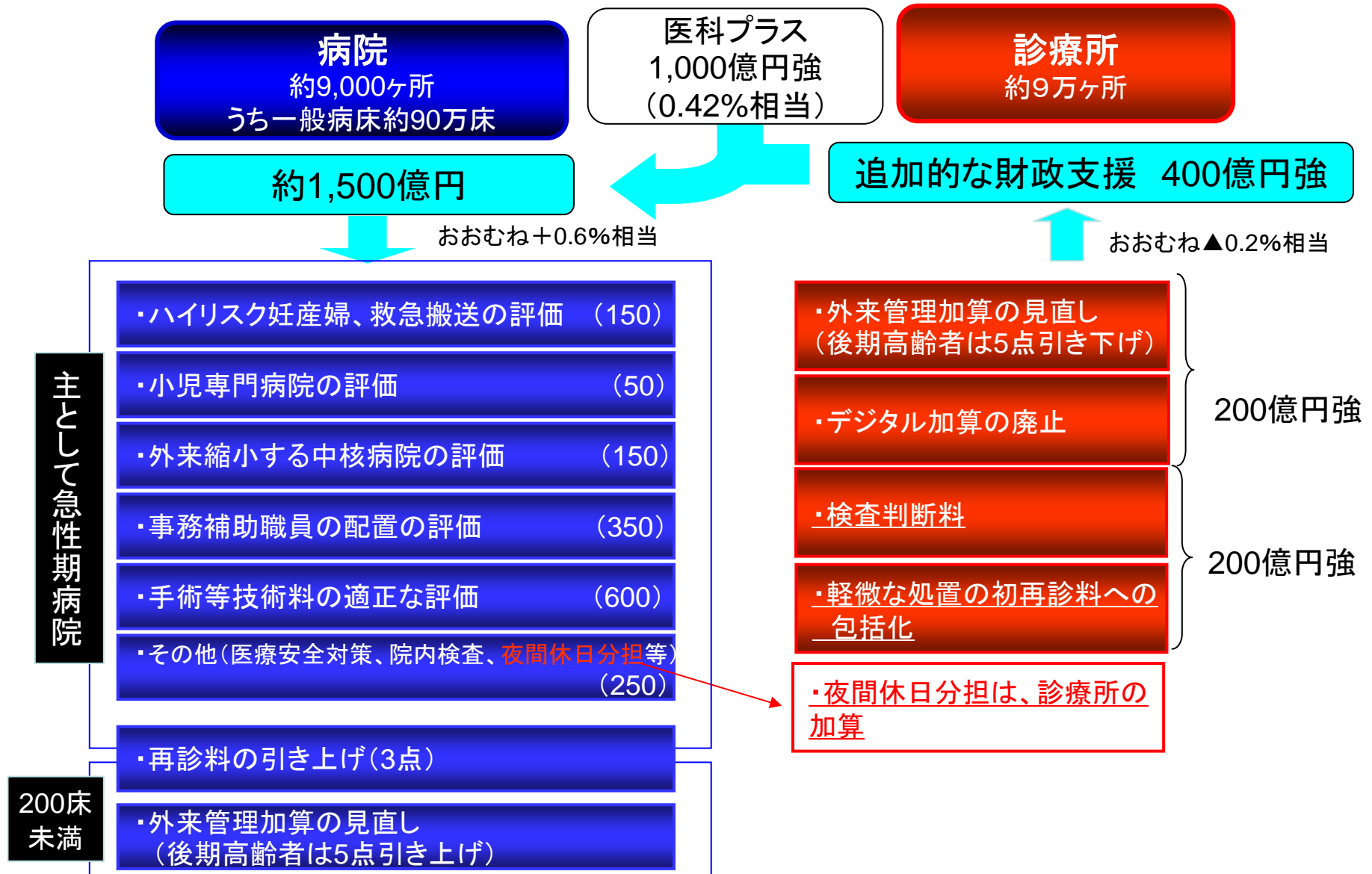
一般病棟入院基本料

2007年度	2008年度	本調査			全国の届出状況*	
		医療機関数	構成比		医療機関数(2007年5月)	構成比
7対1	7対1	8	11.3%	12.7%	787	14.1%
10対1	7対1	1	1.4%			
7対1	10対1	1	1.4%		1,965	35.3%
10対1	10対1	24	33.8%	38.0%		
13対1	10対1	2	2.8%			
13対1	13対1	12	16.9%	16.9%	930	16.7%
15対1	15対1	19	26.8%	26.8%	1,617	29.0%
特別入院基本料	特別入院基本料	4	5.6%	5.6%	268	4.8%
計		71	100.0%	100.0%	5,567	100.0%

\*厚生労働省 中医協総会(2007年7月11日)提出資料

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

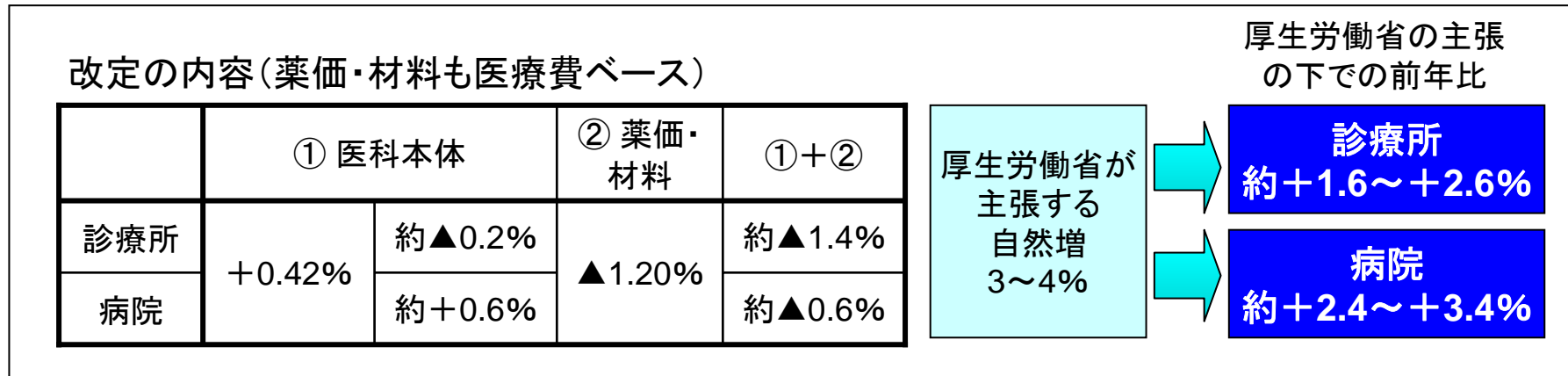
# 病院・診療所の改定の内訳





## 結果の概要

厚生労働省が主張するように自然増が3～4%あるのであれば、総点数は少なくとも前年比増になるはずである。しかし総点数は診療所で▲3.04%、病院で+1.65%、全体で▲0.52%であった。



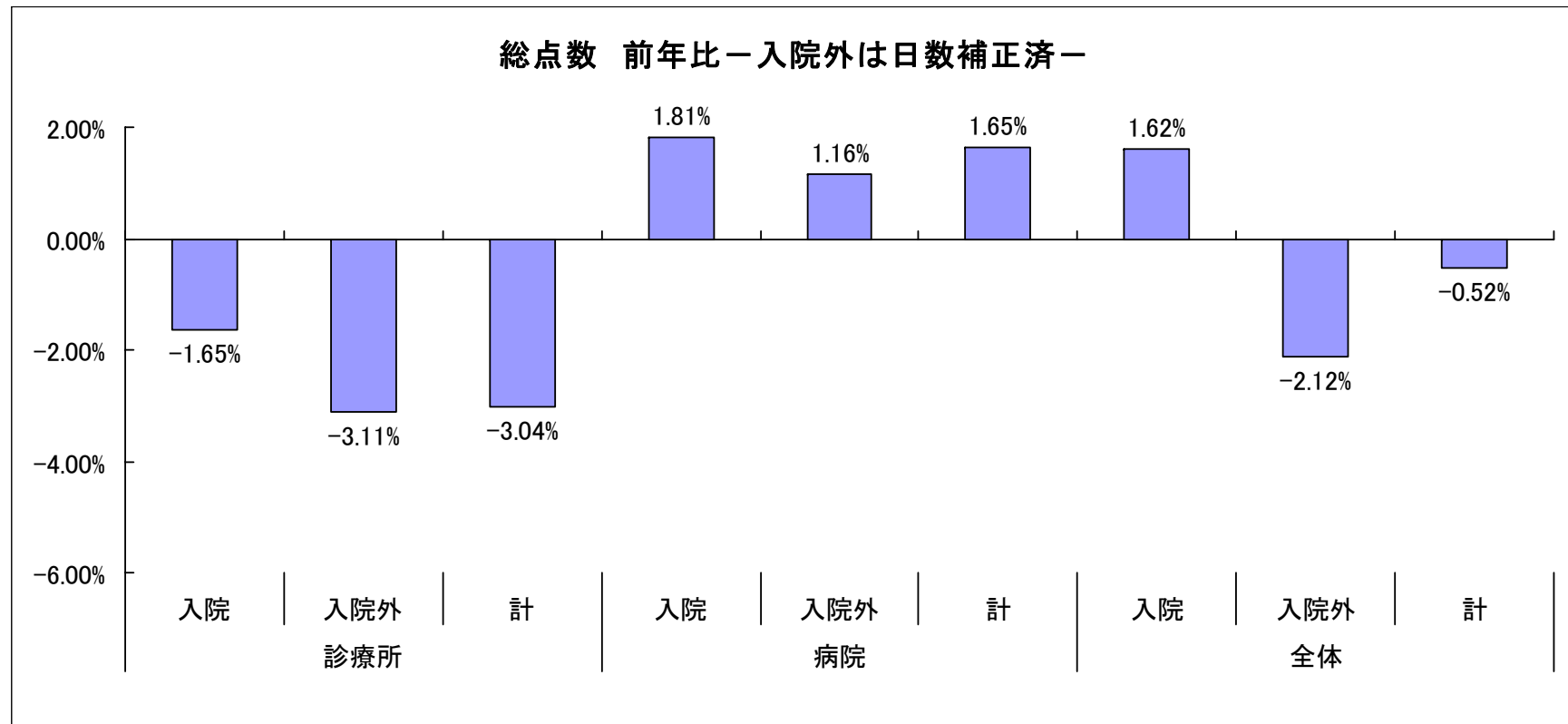
日本医師会緊急レセプト調査 4月速報値の結果(総点数)  
 診療所▲3.04%、病院+1.65%、全体▲0.52%

- 厚生労働省が主張するような自然増はなくなっている。
- 診療所と病院の差が大きすぎる。診療所には厳しい改定となった。

速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 総点数

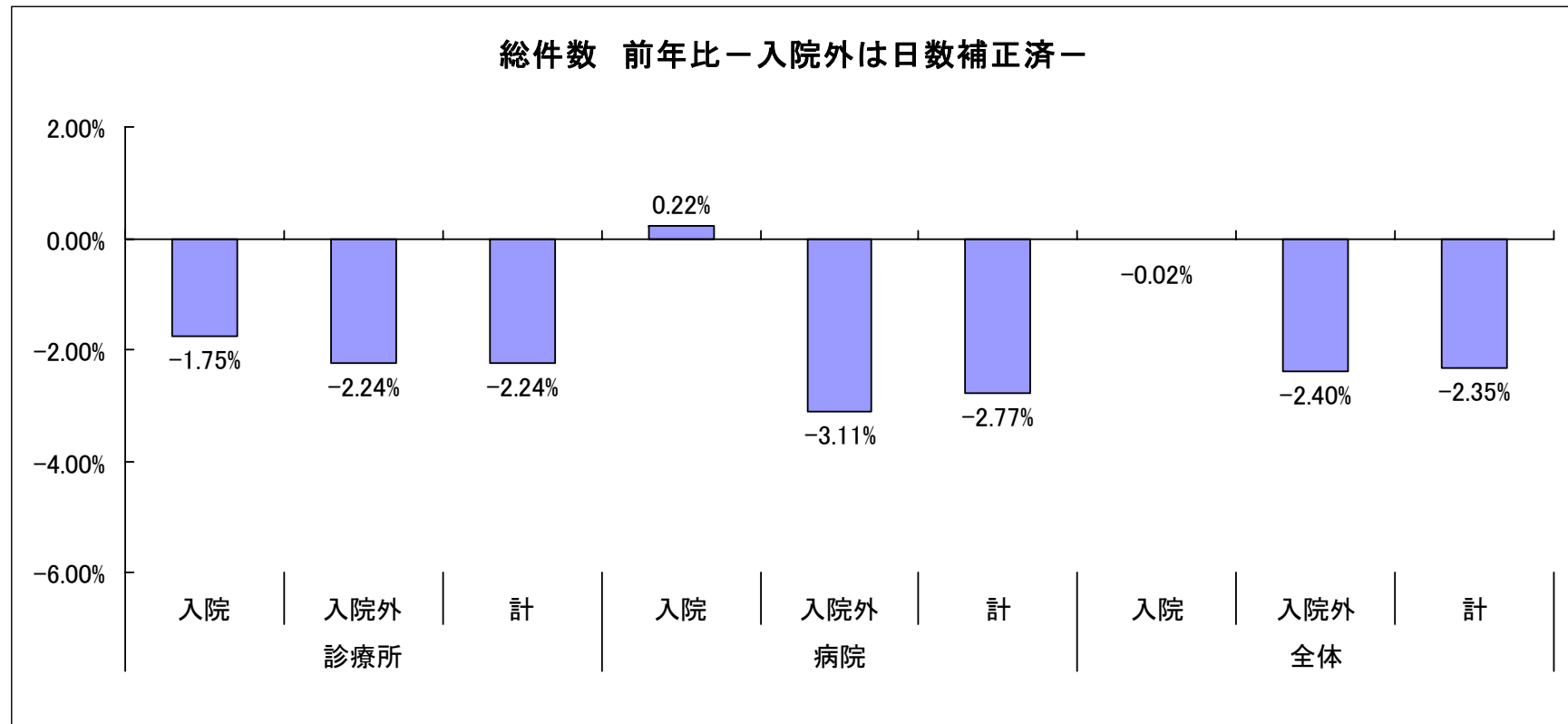
診療所は入院▲1.65%、入院外▲3.11%であった。病院は入院＋1.81%、入院外＋1.16%であった。診療所は特に入院外の減少が大きく、病院の入院外の伸びとの差が大きかった。



速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 総件数

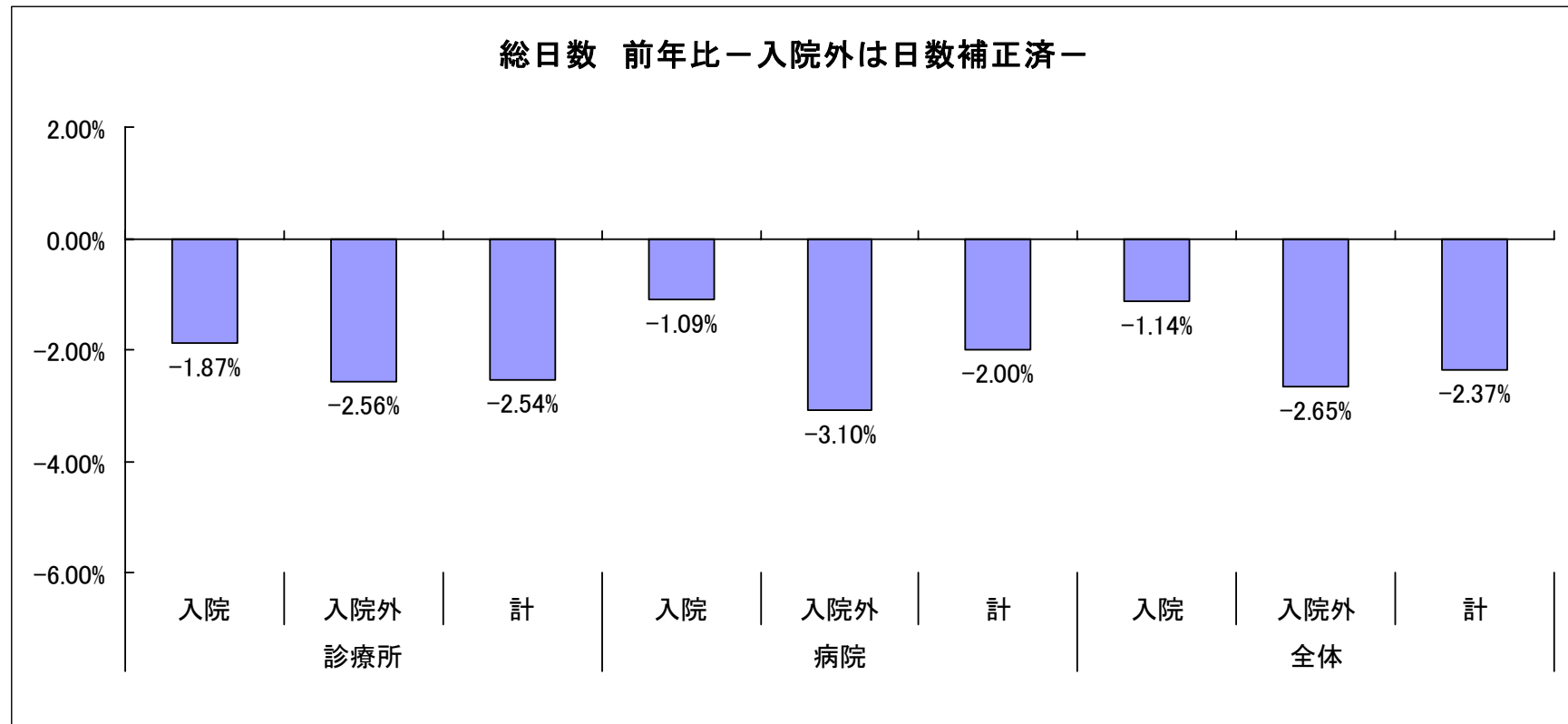
診療所は入院▲1.75%、入院外▲2.24%、病院は入院+0.22%、入院外▲3.11%であり、病院の入院外の下げ幅がもっとも大きかった。



速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 総日数

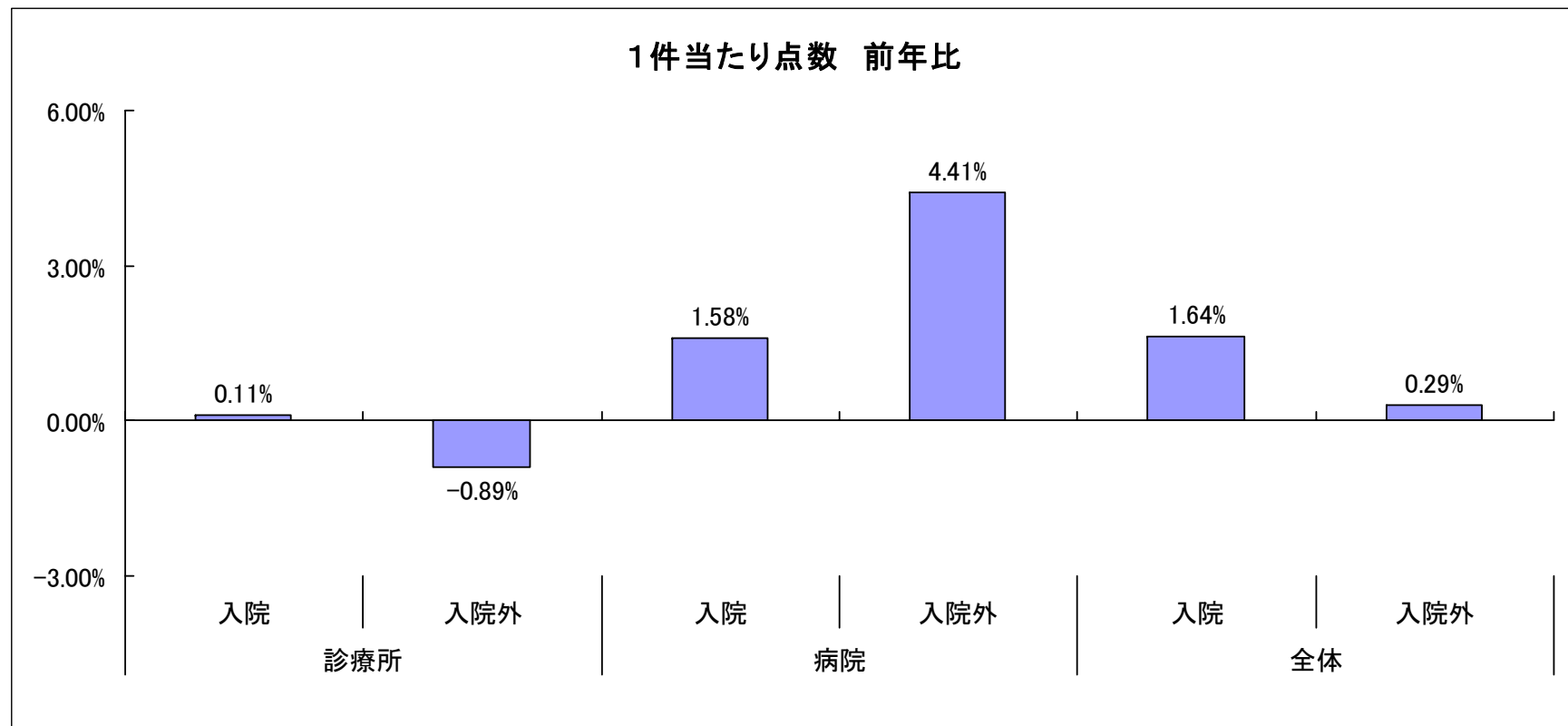
診療所は入院▲1.87%、入院外▲2.56%、病院は入院▲1.09%、入院外▲3.10%であった。総日数も、総件数と同様、病院の入院外の下げ幅がもっとも大きかった。



速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

# 1件当たり点数

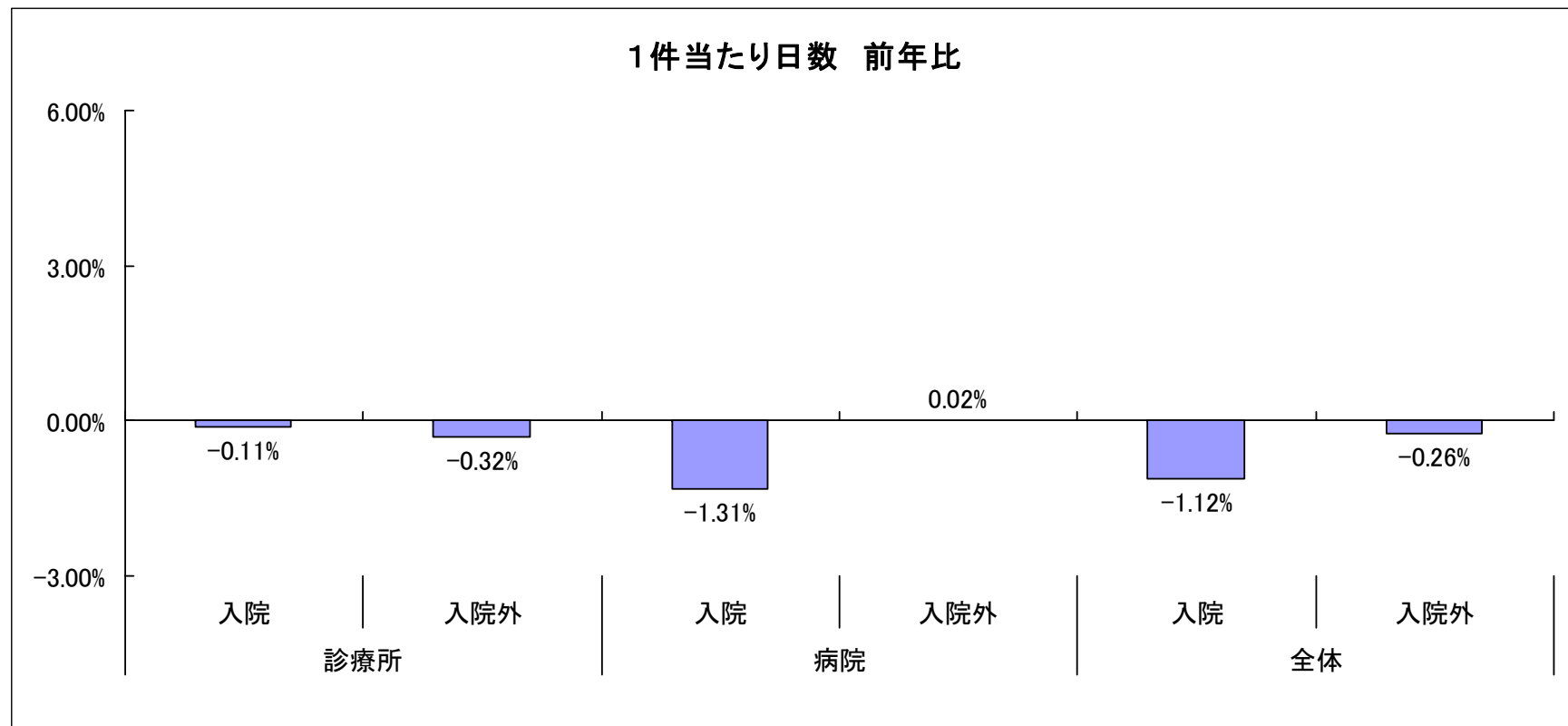
診療所は入院+0.11%、入院外▲0.89%、病院は入院+1.58%、入院外+4.41%であった。総点数と同様、特に入院外で診療所と病院の差が大きかった。



速報値のため、今後点数に異動を生じることがあります。

# 1件当たり日数

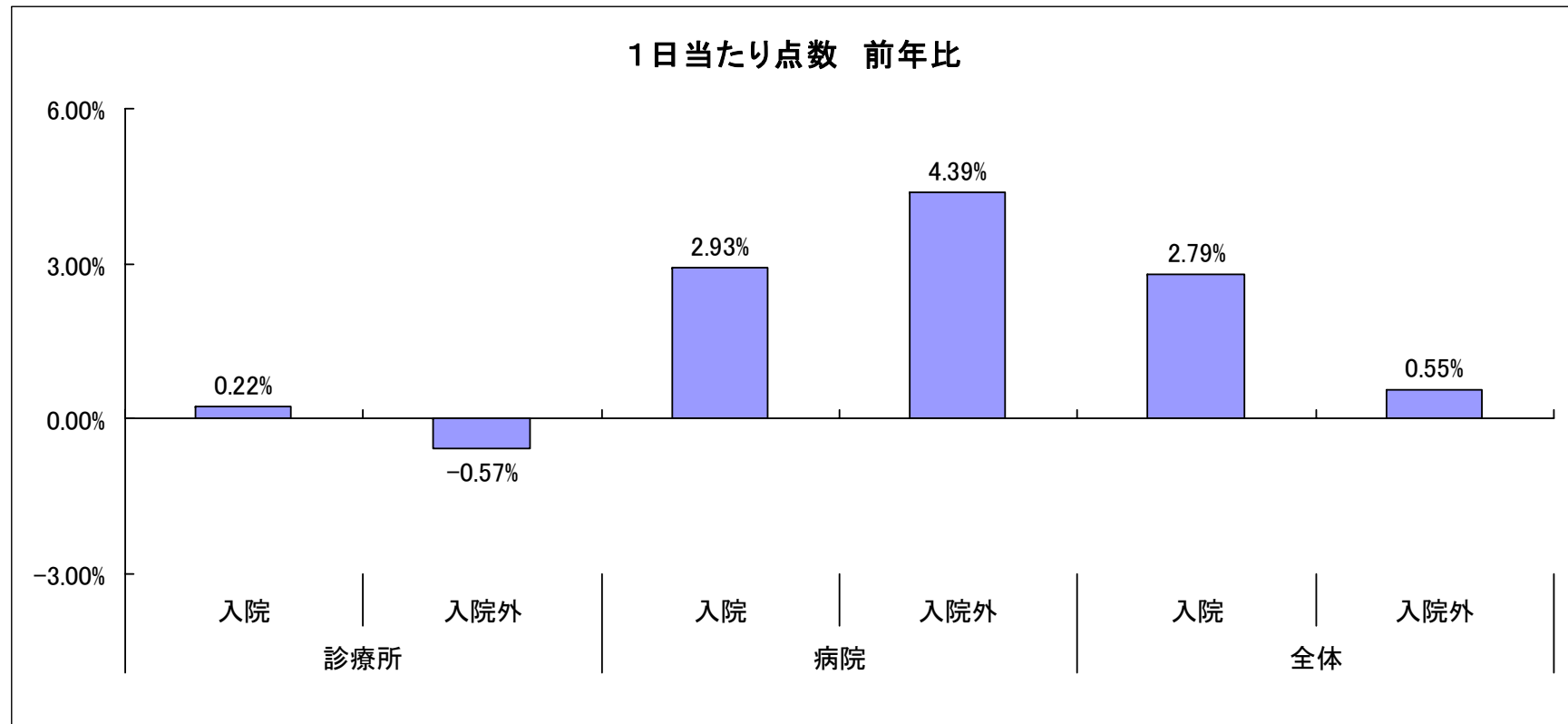
診療所は入院▲0.11%、入院外▲0.32%、病院は入院▲1.31%、入院外+0.02%であった。



速報値のため、今後計数に異動を生じることがあります。

## 1日当たり点数

診療所は入院+0.22%、入院外▲0.57%、病院は入院+2.93%、入院外+4.39%であった。入院は、診療所、病院ともにプラス、また病院は入院、入院外ともにプラスであった。



速報値のため、今後点数に異動を生じることがあります。